

胆道閉鎖症手術（葛西手術）後 に関して今後の妊娠、出産への影響と、妊娠、
出産が胆道閉鎖症術後 に与える影響について、現在の知見をご紹介します。
す。

oo

胆道閉鎖症術後妊娠について

現在までのところ、報告例はまだ少ないのが現状です。まとまった報告としては 2005 年の当センター小児外科からの報告で、葛西手術後の自己肝で妊娠された 5 人の報告が、また 2007 年に東北大学から 9 人の妊娠、出産の報告がある程度です。1950 年代に葛西手術が始まり、広く行われる様になって成績が向上し始めたのが 1970 年代から 1980 年代と言われています。そのため今、ようやく成人期を迎えられる方たちが増えてきていると考えられます。また手術を受けられた方たちが増えてこられ、手術後長期間経過したあとの問題点が明らかになってきています。本稿では、葛西手術後に自己肝で（肝移植を行わず）成人期を迎えられた方たちの妊娠、出産について説明させていただきます。

妊娠中の問題点について

妊娠中に問題になることとして多く報告されていることは以下の 3 つのようです。

① 肝不全

妊娠中から肝機能の上昇（悪化）を認める場合もありますが、産後に悪化し、肝移植が必要になった、という報告もあります。妊娠中から注意して経過観察することが大切です。

② 消化管出血

門脈圧亢進症のため妊娠後半（多くは妊娠 20 週すぎ）に食道や胃に静脈瘤ができる方がいらっしゃいます。これらの静脈瘤は悪化しますと大出血を起こします。そのため妊娠を中断せざるを得なかったという報告例もあります。門脈圧亢進については腹部超音波検査や、血液検査で、消化管の静脈瘤に関しては内視鏡検査などを行い、必要時には早めに治療を行う方がよいとされています。

③ 胆管炎

はっきりとした原因は分かっていませんが、妊娠中にも繰り返すことがあるようです。抗生剤による治療が必要となります。

これらの合併症は、妊娠までの経過が落ち着いていらっしゃっても、起こる場合も報告されています。また肝機能がよくないと低タンパク血症となりやすく、そのため妊娠高血圧症候群（昔の名前では妊娠中毒症といいます）を起こしやすくなる、という報告もあります。いずれにしても、注意深い経過観察が必要となります。

また出生されたお子さんに関しては、先天異常が多いとする報告はありませんが、少し発育が小さめのお子さんが多い、との報告もありますので、赤ちゃんのお腹の中での発育も注意してみてあげる必要があるでしょう。

妊娠、出産を考える前に

かかりつけの外科、産科を受診し、今後の妊娠出産に関してご相談いただくようお願いいたします。葛西手術後の方には月経に関するトラブルを認める場合もある、という報告もありますので、産婦人科で相談されるとよいかもかもしれません。また妊娠、出産はリスクを伴いますので、受け入れ可能な施設かどうか、検討する必要があります。

分娩方法について

帝王切開術を行う必要があると決まっているわけではありませんが、門脈圧亢進症を認める方や、肝機能が悪い場合には帝王切開分娩を選択した方がよい場合があります。

産後について

出産後に肝機能の悪化を認めた方の報告もありますので、注意深い経過観察が必要と考えられます。

2011/11/18 現在

今回ご紹介した内容は 2011/11/18 現在の知見です。今後医学の発展により新しい知見が加わる可能性があります。

参考文献

1. Shimaoka S, Ohi R, Saeki M, Miyano T, Tanaka K, Shiraki K, et al. Problems during and after pregnancy of former biliary atresia patients treated successfully by the Kasai procedure. *J Pediatr Surg.* 2001 Feb;36(2):349-51.
2. Sasaki H, Nio M, Hayashi Y, Ishii T, Sano N, Ohi R. Problems during and after pregnancy in female patients with biliary atresia. *J Pediatr Surg.* 2007 Aug;42(8):1329-32.
3. Kuroda T, Saeki M, Nakano M, Morikawa N. Biliary atresia, the next generation: a review of liver function, social activity, and sexual development in the late postoperative period. *J Pediatr Surg.* 2002 Dec;37(12):1709-12.
4. Kuroda T, Saeki M, Morikawa N, Watanabe K. Management of adult biliary atresia patients: should hard work and pregnancy be discouraged? *J Pediatr Surg.* 2007 Dec;42(12):2106-9.
5. Kuroda T, Saeki M, Morikawa N, Fuchimoto Y. Biliary atresia and pregnancy: puberty may be an important point for predicting the outcome. *J Pediatr Surg.* 2005 Dec;40(12):1852-5.

6. Chiengthong K, Somboonnithiphol K, Kittipinyovath P, Chongsrisawat V, Poovorawan Y, Panyakhamlerd K, et al. Pregnancy in biliary atresia after kasai operation complicated by portal hypertension. J Med Assoc Thai. 2006 Nov;89(11):1961-4.
7. 仁尾正記 和田基 ほか：小児外科疾患術後患者の長期予後-成人期における諸問題- 5.胆道閉鎖症 日外会誌 110(4):195-198,2009